



授業No. 20	授業名	水にすむ生きものの生活
特別講師名 (企業名)	仙台うみの杜水族館	
実施時間	60分	
授業のねらい	観察・実験を通して、水中にも食物連鎖があることを学び、自然環境を大切にすることへの関心を高める。	
特別授業の概要	<p>水中の生きものも、陸上の生きものと同じように関わり合いながら生きていることを学びます。また、水をきれいにする役割をもつ生きものがあることを知り、自然環境を守ることの大切さを学ぶ授業です。</p> <p>① 二枚貝(あさり)について知る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生きたあさを観察(プラケースに入れ各班へ配布) ・からだのしくみを、パネルを使って説明 <p>② 水の浄化実験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各班の生きたあさに植物プランクトンを与え、ケース内の水を濁らせ、20～30分後の変化を予想 <p>③ 水中の生きものと、その役割や食物連鎖について知る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・顕微鏡で動物プランクトンを観察 ・水中の食物連鎖についてパネルを使って説明 <p>④ 水と環境について考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水の浄化実験の結果を確認し、生物の浄化作用について説明 ・水をきれいすることの大切さについて考える <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>⑤ 講師が職業を選択した理由や仕事の内容、生き方に関する話を聞き、社会人・職業人として大切なことを学び、働くことの意義を理解する。</p> <p>【授業終了後】 ナマコやカニなどの生きものに、実際に手でふれながら観察し、自然環境の中でどんな役割を担っているのかを知る</p>	
学校が準備する物	顕微鏡、ホールグラス、ビーカー、ピペット、ホワイトボードなど 実施可能時期：11月以降	